

1954(昭和 29)年富士宮の熱い夏

おうみけんし

— 近江絹糸人権争議と富士宮市民 —



現在イオンモール富士宮店のある土地にはかつて近江絹糸（オーミケンシ）富士宮工場があった。その近江絹糸では 1954 年に全国的な労働争議（当時、「人権争議」と言われた）が発生し、富士宮工場でも市民を巻き込んで激しい争議が闘われた。今回は、調査で収集した写真資料などを用いながら、労働争議から垣間見える 1954 年富士宮の熱い夏を回顧してみたい。

講師

橋本 誠一

静岡大学名誉教授
富士宮市史編さん委員会副委員長

大阪大学大学院博士後期課程単位取得退学。静岡大学人文社会科学部教授を経て、現在は静岡大学名誉教授。博士（法学）。日本法制史を専攻。とくに裁判の歴史について研究している。富士宮市史編さん委員会副委員長で富士宮の歴史 通史編Ⅲ(近現代)の執筆を務める。おもな著書として、単著『明治初年の裁判—垂直的手続構造から水平の手続構造へ』（晃洋書房）、同『在野「法曹」と地域社会』（法律文化社）、共著『裁判と自治の法社会史』（晃洋書房）、同『近代日本における社会変動と法』（晃洋書房）などがある。



日時

2025 年 3 月 8 日（土）14:00～15:30（開場 13:30）

会場

駅前交流センターきらら 集会室（富士宮市中央町 5 - 7）

定員

80 人（先着順）

入場料

無料

【申し込み】 2月3日(月)から電話・WEB サイトで受付

電話

0544-22-1187（富士宮市文化課 平日 8:30～17:15）

WEB

<https://logoform.jp/form/GgrE/852773>



Web 申込はこちら